



熊本市
菊陽町
議会
だより

2018.5
No. 95

きくよう

題字：武蔵ヶ丘中学校2年（当時1年） 藤辺 月磨さん



菊陽町議会フェイスブック
左記のQRコードを読み取る
とアクセスできます。

主な内容

今年の収支予定(平成30年度予算).....	P 2~3	常任委員会の活動.....	P 9~11
一般質問(4人).....	P 7~8	輝く若いちから・マイタウン.....	P 12~13

平成30年度
菊陽町予算を決定

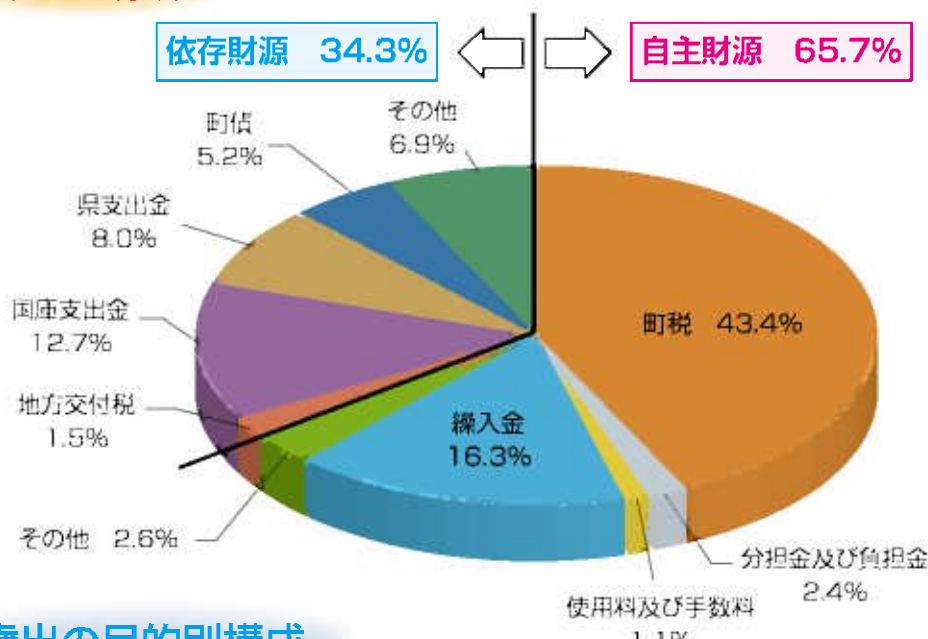
一般会計
特別会計
事業会計

総額246億3,102万6千円

防災広場設置と
それにかかわる財源が論議呼ぶ

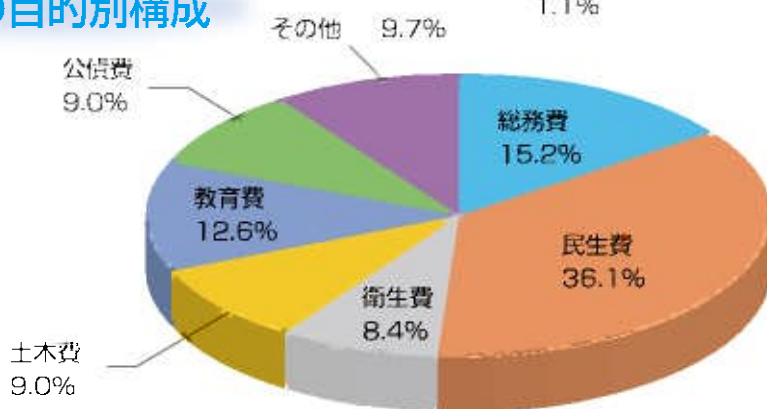
一般会計 148億8,211万2千円

歳入の構成



平成30年度予算が賛成多数で可決された。
本年度の予算審議では防災広場設置事業に関連する予定の財源などに論議が集まった。
同事業の財源については、国の補助金や地方債をあてるとの説明が執

歳出の目的別構成



行部からなされ、同財源を含む平成29年度補正予算「第5号」はすでに第二日に可決成立していた。
しかし、およそ11億円にのぼるその財源についてはまだ確定を見ていなかったところから論議の対象となった。

※執行部提案（仮称）光の森多目的広場（約3haの内2ha）を 防災広場として活用するについての財源措置

- ① 〈仮称〉光の森多目的広場は土地取得特別会計に所屬。
- ② 平成29年度補正予算（第5号）で、2ha相当分の11億4千万円で同広場を一般会計に買い戻す。
（土地取得特別会計所屬の土地のままでは、事業を行えない）
- ③ 同広場を防災広場として活用するにあたり、約11億円の事業費に対して、国庫による支援を申請する。
- ④ 防災広場用地費約11億円の財源の内訳
国庫補助＝5億7,000万円 地方債＝5億7,000万円（うち8割は地方交付税措置）
- ⑤ 〈仮称〉光の森多目的広場の購入費約16億8千万円は平成28年度に償還が済んでいるので、上記の国庫による支援が得られれば、平成30年度の一般会計では約11億円の資金余裕が生まれる。
- ⑥ この財源を次のように振り分けて活用する
* 公共施設整備基金へ3億円 * 総合スポーツ施設整備基金へ5億円
* その他道路等の整備資金や諸事業費として約3億円

防災広場・同和対策事業

などに賛否

反対討論

小林久美子

保育所への入所保留児童が今217人いる。民営化で解消できるとの答弁であるが、その間保護者は働けない。5園一挙に民営化するということがあるが、町は保育実施義務がはたせていない。同和団体助成金を削減する努力がなされていないし、約8千800万円の繰り越し事業である馬場・人造水集会所の建て替えは規模と必要性に疑問がある。

賛成討論

上田 茂政

きびしい財政状況の中引き続き災害復興関連予算も組み込まれている。日19年請願採択の総合体育館建設の予算もある。原水駅周辺の調査やこれまで進められてきた福祉・産業振興・インフラ

整備などバランスをとって進められている。菊陽北小学校の改修や武蔵ヶ丘中学校のグラウンド拡張整備など教育分野への対応もある。

部落差別解消の推進が法律化された。それを受けて地方自治体も差別の解消に取り組み義務があると考える。

反対討論

甲斐 榮治

住民の生活と直結する当初予算については、よほどの欠点がない限り賛成を基本としてきたが、今回はあまりにも多額の不確定要素を含んでいること及び事業展開の仕方にも納得できないので反対する。

防災広場設置の提案は各方面の意見の集約が十分であり、唐突である。約1億円という多額の財源については不確定要素が大きすぎる。半分の5億7千万円の震災関係補助は、可能性はあつ

てもまだ確定ではない。残りの5億7千万円中、約4億6千万円は後で交付税措置を受けるという答弁であるが、菊陽町の130年度予算の普通交付税措置額は約7千万円ということからしても実現の可能性は低い。このように多額の不確定要素を持つ予算案には賛成し難い。

賛成討論

阪本 俊浩

二十数年、防災に携わってきた立場からすると、一番たいせつなものは、住民の命である。熊本地震の経験からしても、安心な場所、広い場所に大勢の人が集まるのが通常である。町民グラウンドは本震の際には重要な役割を果たした。

（仮称）光の森多目的広場は光の森地区にあるけれども、菊陽町の財産である。たとえ、人でも防災広場のおかげで命が助かるとすれば、その意義はたいへん大きなものと考ええる。人の命の大切さを考えたとき、「防災に強いまちづくり」を推進するのは当然である。

国民健康保険料 介護保険料

本年度はともに据え置き

平成30年度菊陽町特別会計・事業会計予算

土地取得特別会計
11億4,213万8千円

工業団地造成事業特別会計
2億6,855万4千円

新しく工業団地を開発して、さらなる企業誘致に努める。

国民健康保険特別会計
33億4,649万4千円

平成30年度から財政運営の責任主体が県に移管される。市町村の住民負担の平準化が将来的な目標。保険税は、県下全体の医療費の動向により増減することになる。医療費自体は増加傾向にあるが、制度改正の特別措置により、本年度の保険税は据え置き。

介護保険特別会計
23億1,094万9千円

本年度保険料は据え置き。

後期高齢者医療特別会計
3億7,854万2千円

（反対討論） 小林久美子

本年度据え置きは評価する。しかし、若者の非正規化、高齢者は年金の削減など、くらしはきびしくなる一方である。そもそも保険税が高すぎる。国保税の負担軽減を求める。

下水道事業会計
収入 19億6,735万7千円
支出 23億 223万7千円

慎重に審議されました

3月議会で上程された案件は、認定1件、議案36件、同意10件、発議1件であった。平成29年度補正予算、平成30年度一般会計予算、特別予算とも慎重に審議された。3月議会の会期は、2月27日から3月15日まで。

議案第9号

菊陽町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

印刷登録証の交付手数料が1件300円、再交付手数料が500円だが、どちらも手数料300円に一本化する。

全員賛成で可決

議案第12号

菊陽町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

議案第16号

菊陽町指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

議案第13号
菊陽町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

議案第17号

菊陽町指定地域密着型介護予防サービスに関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

承認第1号
専決処分の承認を求めることについて(平成28年熊本地震に係る菊陽町営住宅の入居資格の特例に関する条例の制定について)

全員賛成で可決

議案第3号
職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

議案第6号
菊陽町工業団地造成事業特別会計条例の制定について

全員賛成で可決

議案第1号
菊陽町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

議案第4号
職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

議案第7号
菊陽町平成28年熊本地震復興基金条例の制定について

全員賛成で可決

議案第2号
菊陽町情報公開・個人情報保護審査会設置条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

議案第5号
菊陽町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

議案第8号
菊陽町療養給付支払等基金条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

議案第11号
菊陽町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

議案第14号
菊陽町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について

全員賛成で可決

議案第18号
平成29年度菊陽町一般会計補正予算(第5号)について

全員賛成で可決

議案第15号
菊陽町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決

反対討論 北山 正樹
はつきりと入ってくるかわからない交付税を前提としたプランに反対。
反対討論 大久保 輝
防災公園や防災広場に反対ではない。公共施設の中に防災機能を持つような施設を検討すべき。

賛成討論 中岡 敏博

光の森住民、西郷地区

の多くの命を守る災害拠点として絶対必要である。

賛成多数で可決

議案第19号

平成29年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

全員賛成で可決

議案第20号

平成29年度菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について

全員賛成で可決

議案第21号

平成29年度菊陽町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

全員賛成で可決

議案第22号

平成29年度下水道事業会計補正予算(第3号)について

賛成多数で可決

議案第23号

平成30年度菊陽町一般会計予算について

賛成多数で可決

議案第24号

平成30年度菊陽町土地取得特別会計予算について

全員賛成で可決

議案第25号

平成30年度菊陽町工業団地造成事業特別会計予算について

全員賛成で可決

議案第26号

平成30年度菊陽町国民健康保険特別会計予算について

賛成多数で可決

議案第27号

平成30年度菊陽町後期高齢者医療特別会計予算について

賛成多数で可決

議案第28号

平成30年度菊陽町介護保険特別会計予算について

賛成多数で可決

議案第29号

平成30年度菊陽町下水道事業会計予算について

全員賛成で可決

議案第30号

付帯控訴の提起について
反対討論 吉本 孝寿
けがをした町民に対してすぐに町長が謝罪をするべきであったのでは。

賛成多数で可決

議案第31号

指定管理者の指定について
反対討論 甲斐 榮治
住民と町が全面対決すべきではない。

賛成多数で可決

議案第32号

菊陽町農業委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて

全員賛成で可決

議案第33号

工事請負契約の締結について(菊陽町総合交流ターミナル施設二期改修工事(機械設備))

全員賛成で可決

これらの施設の管理を菊陽町社会福祉協議会に委託する

氏名 本川 和寛
鉄砲小路区推薦

全員賛成で可決

議案第32号

町道路線の認定について9路線の町道路線を認定する必要があるため

賛成多数で可決

議案第33号

菊陽町教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて

氏名 市原 久美子
住所 菊陽町大字原水三里木北区

議案第34号

工事請負契約の締結について(菊陽町総合交流ターミナル施設二期改修工事(建築))

全員賛成で可決

議案第35号

工事請負契約の締結について(菊陽町小学校給食室増築・改修工事(建設))

全員賛成で可決

議案第36号

菊陽町建設直条例の一部を改正する条例の制定について

氏名 堀川 眞助
柳水区推薦

氏名 川端 哲男
馬場地区推薦

氏名 河北 安之助
出分区推薦

氏名 内藤 文紀
花立区推薦

氏名 坂本 里美
菊陽町農業女性アドバイザー等の推薦

氏名 宮村 治孝
中支委員として応募

氏名 野村 治孝
中支委員として応募

氏名 野村 治孝
中支委員として応募

議案第37号

議案第38号

議案第39号

議案第40号

議案第41号

議案第42号

議案第43号

議案第44号

議案第45号

議案第46号

議案第35号

工事請負契約の締結について(菊陽町小学校給食室増築・改修工事(建設))

全員賛成で可決

議案第36号

菊陽町建設直条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数で可決

議案第37号

菊陽町建設直条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数で可決

議案第38号

菊陽町建設直条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数で可決

議案第39号

菊陽町建設直条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数で可決

議案第40号

菊陽町建設直条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数で可決

平成30年第1回菊陽町議会定例会議案に関する各議員の賛否一覧表

付議事件

承認第1号	専決処分の手続きを定めることについて（平成28年熊本地震に係る菊陽町営住宅の入居資格の特例に関する条例の制定について）
議案第1号	菊陽町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
議案第2号	菊陽町情報公開・個人情報保護審査会設置条例の一部を改正する条例の制定について
議案第3号	職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第4号	職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第5号	菊陽町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第6号	菊陽町工業団地造成事業特別会計条例の制定について
議案第7号	菊陽町平成28年熊本地震復興基金条例の制定について
議案第8号	菊陽町療養給付支払新基金条例の一部を改正する条例の制定について
議案第9号	菊陽町手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議案第10号	菊陽町放課後児童クラブ施設設置条例の設定について
議案第11号	菊陽町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第12号	菊陽町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
議案第13号	菊陽町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
議案第14号	菊陽町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について
議案第15号	菊陽町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第16号	菊陽町指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第17号	菊陽町指定地域密着型介護予防サービスに関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第18号	平成29年度菊陽町一般会計補正予算（第5号）について
議案第19号	平成29年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第20号	平成29年度菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について
議案第21号	平成29年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第22号	平成29年度下水道事業会計補正予算（第3号）について
議案第23号	平成30年度菊陽町一般会計予算について
議案第24号	平成30年度菊陽町土地取得特別会計予算について
議案第25号	平成30年度菊陽町工業団地造成事業特別会計予算について
議案第26号	平成30年度菊陽町国民健康保険特別会計予算について
議案第27号	平成30年度菊陽町後期高齢者医療特別会計予算について
議案第28号	平成30年度菊陽町介護保険特別会計予算について
議案第29号	平成30年度菊陽町下水道事業会計予算について
議案第30号	付帯控訴の提起について
議案第31号	指定管理者の指定について
議案第32号	町道路線の認定について
同意第1号	菊陽町教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて
同意第2号～10号	菊陽町農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて

付議事件（追加）

議案第33号	工事請負契約の締結について（菊陽町総合交流ターミナル施設二期改修工事（建築））
議案第34号	工事請負契約の締結について（菊陽町総合交流ターミナル施設二期改修工事（機械設備））
議案第35号	工事請負契約の締結について（菊陽西小学校給食室増築・改修工事（建築））
議案第36号	菊陽町部設置条例の一部を改正する条例の制定について
発議第1号	菊陽町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・承認・認定 ※報告は採決がないため削除 ※全員賛成の議案等については、記載していない。

■賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		大久保	阪本	西本	那須	佐々木	中岡	吉本	吉山	北山	石原	岩下	大塚	川俣	上田	小林	甲斐	
		賛成	反対																	
議案第18号	可決	13	3	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第23号	可決	14	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第26号	可決	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	可決	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	可決	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	可決	12	4	●	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	可決	15	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・承認・認定・継続審査 ※報告は採決がないため削除

● 第95号議会日より、広報誌作成印刷業者及び会議録作成業者の選定後に編集作業に入りますので、発行が遅れてまいります。ご了承下さい。



西本 友春 議員

復興支援

西本 仮設、みなし仮設で住宅再建困難者に対して2月に町営住宅の募集をおこなっているが、結果はどのようなものか。

建設課長 町営住宅の空き室19室を準備し、応募を受け付けた12世帯の入居先が確定した。

西本 住宅再建へ向けた半坂以上住宅の応急修理支援金の利用状況はどのようなものか。

聴覚障害児の助成金

西本 聴覚障害を抱える家庭にとっては経済的に大きな負担となっており、

障害児手帳を持っていない児童に対しても手帳を持っている児童と同じ負担率にはできないのか

答 今後、補助率の見直しについて検討させていただきます。

学校司書

西本 夏休み中週1回程度の開館をし、子どもが本を読み出しと学習ができる環境をつくってほしいとの要望があるが、夏休みの開館についてどのように考えているのか。

西本 菊陽町では聴覚障害児の学級が存在しているが、聴覚障害児の教育的支援をどのようにおこなっているのか。

教育次長 座席の配慮や早口に話さないよう口の形や表情が見えるような位置を心がけながらの授業、町で購入したワイヤレス受信機の利用など、聴覚に障害を持つ子どもたちが安心して学習や生活ができるような環境整備に努めてまいりたい。



西本 夏休み中週1回程度の開館をし、子どもが本を読み出しと学習ができる環境をつくってほしいとの要望があるが、夏休みの開館についてどのように考えているのか。

西本 学校司書は資格職であるが、処遇改善をどのように考えているのか。

西本 学校司書は資格職であるが、処遇改善をどのように考えているのか。

農業施策



那須 眞理子 議員

那須 新町地区の基盤整備事業は、土地改良法の改正を受けて、国と県の回答はどうか。

農政課長 中間管理機構が借り受けた農地については、都道府県が基盤整備を実施することが可能となる。

那須 今後に向けて、新たな考えはあるか。

農政課長 町道杉並木線が東側へ延伸計画され、また菊陽空港線も北側延伸が具体化されて、原水駅周辺が急激に変化してきた。また、都市計画において、H30年度には、原水駅周辺の開発の可能性についての調査があった。農業サイトでH27年に、アンケート調査した

ICT（情報通信技術）を導入して小中学校教育の充実を計る考えはないか

答 教育安全委員会とも十分打ち合わせをしながら導入に向けて積極的に取り組んでいく。

那須 意欲ある農業者のために、一刻も早い情報伝達を願う。

那須 人口減少社会が農家の雇用にも影響を及ぼしている。農業の更なる発展のためにも、人に変わる農業機械やロボットが必要である。農業機械が導入し、導入時独自の支援は考えられないか。



新町地区基盤整備地

農政課長 以前は、町独自の支援事業があったが、農業情勢の変化に伴い、H19年に終了した。その後は、国などの補助事業が個別経営体への支援施策となり、ニーズに即して

介護保険制度改正

那須 介護保険制度改正に伴い、国の交付金を収入するための考えは。

介護保険課長 国からの算定基礎となる評価指標がG1項目であるが、町では以前から介護予防・日常生活支援総合事業に取り組んでいる。そのため、多くの県内市町村では、保険料の引き上げが予想されるが、本町はH30、32年度までは、700円に据え置くことができ。今後は、現在の事業を更に進めていくと共に、新たな事業も常に検討していく。

町長 菊陽健康クラブの会員を募集中であり、会員証として運動量計を身に付けて運動量を算出し、そのポイントで「さんふれあ」の商品券として利用できる。



小林 久美子 議員

子ども医療費の自己負担は
早く解消を

答 来年一月から実施予定

小林 子ども医療費の自己負担の解消については、来年1月より準備するといわれているが、今年からでも実施できないか。
健康・保険課長 今年から実施できないかとのことだが、難しい。雷陣システムの改修などもあり、来年1月には実施できるとはしていない。

児童の受け入れ状況は
小林 今年度は、公立保育所の民営化が進められている。H30年度の入所希望の児童の受け入れはどうか。

217人が保留
子育て支援課長 2月末時点で、1,347人の児童が入所できる見込みである。現時点では217人の児童が、希望どおりに保育所に入所できない。

町の対策は
小林 入所希望しているにもかかわらず入れない児童に対しての町の対策はどうか。

民営化により解消できる
子育て支援課長 保育所の民営化により、待機児童が解消できると考えている。

低年齢児の受け入れは
小林 低年齢児の受け入れが困難で大きな問題だと思いが、どうなっているのか。

残りの町立保育所で可能
子育て支援課長 町立保育所の今年度の低年齢児の受け入れ状況は、保育士が十分確保できず、ゼロ歳児クラスについては、さくら園、なかよし



桜の下で遊ぶ子どもたち

園、武蔵ヶ丘第一保育園の3園となっている。町立保育所の民営化により、残すなかよし園とみどり園に正職員を重点配置し、ゼロ歳児、1歳児クラスを含め、定員以上に受け入れができると考えている。



甲斐 榮治 議員

市制移行へ挑戦すべきではないか

答 移行への現実味を帯びてくれば準備する

甲斐 市制移行へ向けて努力すべきではないか。更なる人口増のための施策を打っているか。

町長 前町政を受け継いで、都市基盤整備を先進的に進め、企業誘致にも取り組んだ。保育所・学校・学童保育等も整備した。財政規律に配慮して財政力も比較的に高い状態である。

しかし、全県的には人口が減る中で、市に至るためのもっとも高い状態はハードルが高い。市と町は福祉事務所の設置義務以外に権限もあまり変わらないが、ネットバリューは市の方が高い。5万人以下の市もかなりあるので、国に人口基準を見直してもらえば早い。

甲斐 積極的に手を打って市をめざすというふう

には聞こえなかったが、郡の実体はないし、「町よりも市が格上」という一般の評価はおろそかにしない方がいい。将来、地方自治は市が最小単位になる可能性もある。

熊本市の東部地域の自治体は相対的に勢いがある。この地域に競やかな連合体を作って、より一層の発展を図るという手もあるが、どうか。

大空港構想とリンクも
町長 菊陽空港線を延伸し、セミコンテクノパークを経由して、中九州高規格道路につなげば、県の大空港構想ともリンクし、沿線地域経済の活性化が可能になる。原水駅周辺の整備も手掛ける。

甲斐 さらなる企業誘致や菊陽空港線の延伸及び総合スポーツ施設の建設をどう進めるか。



菊陽空港線（役場側より）

県と全県トについて協議し、工事に着手する。
町長 本年度に総合スポーツ施設の検討委員会を立ち上げる。

新工業団地造成などを審議

産業建設常任委員会

○議案第6号 菊陽町工業団地造成事業特別会計条例の制定について

○議案第23号「平成30年度菊陽町一般会計予算について」のうち産業建設常任委員会に属する事項

○議案第25号平成30年度菊陽町工業団地造成事業特別会計予算について

○議案第29号平成30年度菊陽町下水道事業会計予算について、4議案が付託され2日間にわたり執行部からの説明と現地視察をおこない、慎重に審議した。

経済部

商工振興課

問 工業団地造成事業特別会計条例の制定の理由は、

答 地方財政法で工業団地の造成事業に関して特別会計を設置するものとされ、収支が明確になる。海外展開支援事業は、

何年目で、主な実績は、

答 地方創生で始まった事業、今年で3年目である。過去に台湾への販路拡大、幕張でのイベントへの出展を支援した。また、特産品開発の取り組みのために協議をしている。

農政課

問 農道舗装工事の場所は、

答 農道白水台地11号線白菊園西側、約1.500mを予定している。

問 キャロップピーユニフォームとは、

答 300着を作製予定である。目的は、町のシンボルのPRや統一感、イメージアップのため、ピンバッジと同様に販売していく。

農業委員会

問 農地利用最適化交付金とはどのようなものか、

答 新農業委員会制度に

基づき農地利用最適化推進活動が必須業務とされ、これにともない創設。なお、今年初めて計上する。

問 農業委員会費と農業振興地域整備計画促進費の違いはなにか、

答 農業委員会議費は、農地法に係る事業を審議するための予算。農業振興地域整備計画促進費は、農振法に基づき農用地を除外・編入、計画を変更する場合に諮問会議を実施するための予算である。

土木部

環境生活課

問 家庭ごみ収集週数業務委託業者は1社か、公共施設等のごみ収集業者は、

答 どちらも1社で同一の業者である。数年前までと違い、効率化を図るため業務委託をおこなった。

都市計画課

問 まちづくり基本調査業務委託関連で原水駅周辺の範囲をどのように

想定しているのか。

答 市街地開発で重要なのは道路、駅、バス停等であり、原水駅周辺は、菊陽空港線延伸等もあり、今後、どのような事業でどの範囲で市街地整備をおこなうか検討する。

問 定住促進補助金関連で舟ぐり井下公園を利用している若い世代への周知方法は、

答 公園管理センターにチラシを置き、今後、ポスターの設置を検討したい。

建設課

問 道路植栽管理業務委託に5,613万円であるが、必要性は、

答 以前は、緑化推進のためであり必要であったが、現在は、管理費が増加しているため、植栽帯を増やさないと、手のかからないものと考えている。しかし、広い道路になると緩衝緑地帯を設ける。これは、道路構造令に則って整備したものである。

問 町営住宅の軒数は、

答 9団地244戸である。町が整備する公営住宅の戸数に限度はないが、民間賃貸住宅や県営

住宅（イオン九州南側）で対応可能である。

問 十一軒五軒屋線の測量設計の内容は、

答 五軒屋の現道幅員が3.4mで車道の離合を容易にするため、5mに拡張する計画である。

下水道課

問 玄番道筋排水区基本設計業務委託とは、

答 5年に1度ぐらいの局所的な雨で床上浸水まではいかないが、道路北側の冠水する箇所があるため。

現地視察

○第二土地区画整理 街路築造工事及び汚水管敷



廃棄物集積所



北新山地区



さんふれあ改修工事

恒重審議及び現地での説明後、4議案の採決をおこなった。

全員賛成により可決

○さんふれあ改修工事
○北新山地区計画 戸建て住宅1戸

文教厚生常任委員会

3月議会で文教厚生常任委員会に付託された議案は、平成30年度一般会計予算のうち、文教厚生常任委員会に属する事項、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3特別会計予算で、その中の代表的な項目を報告する。

小学生・中学生の教育

○ICT教育の推進
急速に発展を続けている、ICT（通信情報技術）の普及の先には、現在ある仕事の多くが、今はない新しい仕事に変わる可能性がある。子どもたちがその時代の変化に対応するため、ICTは不可欠な要素であり、さらに強化していく。

英語検定補助 英語力を強化することを目的として、英語検定受験料を補助する。これは、

中学生全員を対象に英語検定試験に果敢に挑戦して、自身の能力の向上につなげてほしいという、願いを込めて卒業化した。

日本語指導支援員

主に外国から来日した生徒を対象に授業中を含めて日本語に慣れない生徒をサポートし学力の向上を図ることを目的として、日本語指導支援員を配置する。

武蔵ヶ丘中学校のグラウンドの拡張

今、駐車場として使用しているグラウンド東側の用地を、休日のグラウンドとして拡張する工事をこなう。

南部町民センターとふれあいの森研修センター

健康増進を目的に「コードレスバイク」を設置する。料金は無料で誰でも利用できる。

き、気軽に汗を流すことができる。

地域未来塾

塾に通っていない中学生を対象に、2学期から3学期にかけて数学、英語、理科の主要3教科を取り上げる。H29年度は、中央公民館と武蔵ヶ丘コミュニティセンターで実施した。

西部支所キャロツピア

身障者用駐車場に屋根を設置。現在では雨天の際、身障者が車に乗り降りする際、雨に濡れてしまう状況を改善するために屋根を増設する。

保育補助者雇上強化事業

この后苦しい名前前の国の事業は、保育上の忙しすぎる労働環境を和らげ、保育士の離職の防止を図ることを目的としておこなわれる事業である。背景には、保育士の報酬が他

の業態に比べて低い賃金の割には忙しく、資格を持ちながらも保育の勤務を敬遠する人が多くいるため、待機児童の原因の一つにもなっている。同補助者は各園に一人ずつを配置する。

「児童虐待」の現状

本町では、H29年11月末時点で、児童虐待に関する相談件数は235件発生した。その中で、要保護・要支援児童と認定している事例の中で、主に夫による妻への暴力を児童の目の前でおこなうことにより、子どもへの心理的虐待になっっているケースもある。

町民から警察や児童相談所への通報も

多くなっていて、親による児童への育児放棄（ネグレクト）などや、直接的・間接的な虐待の結果として、子どもが死亡してしまうケース

は絶対に出したくないと危機感を持っており、今後とも注意を要する事案である。

介護保険特別会計に関する今後の懸念事項

○国は町に調整交付金を支給しているが、額を算定する基準の一つに「高齢化率」がある。本町は子育て世代等の若年数が多いため、高齢化率は他の自治体に比べて低い。

H30年度からの3年間は、基金を取り崩すことで介護保険料を値上げはせず、済むが、現在でも高齢化率の数値は低い。お

年寄りの実数は決して少なくはない。今後の財政的視点を考慮し、介護予防の啓蒙・普及を図るなどの活動が不可欠であり、今後の介護保険の運営に関しては、注意を要する。

委員会での採決の結果は、いずれも全員賛成で可決すべきと決した。



病後児保育施設



菊陽北小学校

総務常任委員会

議案第23号

平成30年度菊陽町一般会計予算のうち、総務常任委員会に属する事項について

議案第24号

平成30年度菊陽町土地取得特別会計予算について付託され、2月間にわたり慎重に審議した。委員会での質疑応答の概要は以下のとおりである。

総務課 選挙管理委員会

問 原水地区の投票所が1カ所だが、どうにかならないか。

答 H18年に16カ所から10カ所になっている。当時は、有権者数が200人〜6000人とばらばらであり、公民館が大半であった。ハリアフリーの観点及び町の施設の整備も

進んだため、説明会を多数開催し、適正な有権者数ごとに町の施設に集約した。

総務課 総務法制係

問 行政区運営補助は、どうなっているか。地区によって格差が生じているのではないか。

答 定額補助金額は、地区65、000円に加えて、戸数割が年額200円である。

総務課 復興推進係

問 防災センター基本設計委託について施設の概要はどうなるのか。

答 敷地全体を防災の観点から有効活用するための基本計画を発注する。基本計画を策定する中で建設場所や設備を検討し、その後、基本設計に入る。H30

年度の半ばに発注したいと考えている。

総合政策課

問 巡回バスの委託料はこれまで3,200万円程度の規模であったか。

答 委託料は2,500万円程度となっているが、本年度予算は委託料の他運行に必要な準備費用も含まれており、具体的には、バスのラッピング費用、回数券、車内放送なども含んでいる。

人権教育・啓発課

問 団体活動助成金について、削減の努力をしているか。また、どのような状況にあるか。

答 活動助成金は4,5年計上している金額と変動はない。運動団体は部活差別撤廃が大きな運動の一つなので、それに向けては行

政もしつかりやらなければならぬし、運動団体もしつかり活動していたらいいという

ことで補助金を交付している。現状では、減額するということは考えていない。

財政課

問 普通交付税が、前年度よりも約3億円減だが今まで一番少ないのか。

答 今まで一番少ない額である。

施設個別計画策定業務委託料について、毎年計上しているか。

答 毎年ではない。回からの要請により、公共施設等総合管理計画を策定する必要がある。今後の施設更新に係る経費や方針を定めた。学校や道路に関しては各担当課により進めているが、各センターについては財政課で施

設の老朽化調査をおこない方針を決めていきたい。

問 総合スポーツ施設整備基金の積立額が10億円になるが、何億円を目標に積み立てるのか。

答 建設予定地や施設内容、またどのような財源を活用するかによって必要な一般財源などがはっきりすることになる。そのため、現段階では数値目標を言及できない。

防災広場整備のための（仮称）光の森多目的広場について、国庫補助金5億7,000万円の実現の確実性と確定時期はいつか。

答 また、地方債5億7,000万円のうち交付税措置4億5,000万円の実現の確実性と確定時期はいつか。

助金については間違いないと認識している。

地方交付税については、制度上算入されるが実際の交付額は町の財政状況による。

地方債の元利償還金が間違いなく基準財政需要額に算入されるが、実際の交付額は財政事情に影響される。



(仮称) 光の森多目的広場

委員会での採決の結果

議案第23号

賛成多数で可決

議案第24号

全員賛成で可決

輝く若いちから



菊陽町を支える若者たち



グランドチャンピオン
を獲得!!



あかつか しょうた
赤塚 祥太さん

菊陽町 馬場地区

我が家は、代々、人参などの野菜と畜産業の複合農家です。小さい頃から、家業の手伝いなどをしていたので、自分もこの家業をやっていたかと思えました。

熊本農業高校を卒業し、1年間父の元でいろいろな勉強をしました。自分名義の繁殖牛で勝負したいと思い、19歳の時に畜産部門の新規就農で、経営を始めました。始めた当初は、生き物相手になかなか休みはないし、経験不足もあり、大変な思いもありました。自分の名義で出荷した牛が高く評価され、褒めてもらえたりするうちに、やりがいのある仕事だなと思い、やる気を持ってがんばっています。

現在、就農して5年目になりますが、まだまだ半人前です。周りの先輩方に教わりながら、一人前の経営者として成長し、地域の担い手となれるようがんばっています。



祥太さんの育てた「うめひさ号」は熊本県の品評会でグランドチャンピオンを獲得しました。

「ひさゆり号」は当時、熊本県下過去史上最高額の331万円でせり落とされました。

好きな言葉
意志あるところに
道は開ける



よしだ あいな
吉富 彩奈さん

武蔵ヶ丘北小学校
(現 武蔵ヶ丘小学校)

武北小で楽しかった嬉しかったことは

楽しかったことは、算数をみんなと一緒に勉強したことや何気ない日常会話です。多くの子どもたちと関わることができ、毎日充実していました。嬉しかったことは、「先生の笑顔を見ると、私も笑顔になる」と子どもから言われたことです。私も笑顔で子どもと接することを心がけているので、その子の一言でこれからも笑顔を大切にしていこうと思いました。

先生になりたいと思った理由は

4年生のときの担任の先生との出会いがきっかけで先生を目指すようになりました。私は4年生の時に転校したのですが、不登校の妹の世話や新しい環境に慣れない不安等で精神的に苦しい時期がありました。その時に支えてくださったのが担任の先生でした。それから、その先生になんでも相談できるようになり、こんな先生になりたいと思いました。

今後の目標や夢

目標は、子どもたちがいつも笑顔で元気に学校に来られるよう、温かい学級をつくり続けることです。夢は、結婚して子どもを最少2人は産んで、育てることです。自分の家庭を持つことで、先生としても日々成長し、教育について様々な視点から考えられるようになりたいと思っています。

子どもたちへのメッセージ

途中から武蔵ヶ丘北小学校にきた私を受け入れてくれて、とても感謝しています。「吉富先生～」と笑顔で話しかけてくれるみんなに何度も元気ももらいました。武蔵ヶ丘北小学校にいた時間は、私にとって、とても大切な思い出です。これからも笑顔を忘れず、みんならしくがんばってください。また、みんなに会えるのを楽しみにしています。ありがとうございます。



毎朝、笑顔であいさつ運動をしました!



桜の下で先祖まつり!!

大堀木地区墓地組合



組合長 舟津生二さん

毎年4月の第一日曜日を先祖供養の日と定め取りおこなっております。
町外居住者も帰省し参加されて和やかな先祖まつりとなっております。
今後も現在のような先祖供養を続けていきたいと祈念致します。
現在の墓地は平成4年の国体道路の建設に伴う都市計画により移転して
現在にいたっています。

桜の下で、組合員の皆様とお酒を酌み交わし、いつの日か墓に入っても、仲良くしていきたいと思ひます。

ご先祖様を迎え、区民一同がつどいます。
桜の下で花見をかねて、昔を偲びながら将来を語る楽しい1日です。



安全・安心のために よろしくお願ひします!

光の森交番が新設、運用開始

平成30年4月1日(日)、ひかりのもり公園、ゆめタウン前に大津警察署光の森交番ができました。強くて優しい警察官が本町のために活動しています。



光の森地域には、たくさんの公園や広場があるけど、どの公園の近くのの?



〇〇公園前派出所というマンガがあるけど、交番、派出所、駐在所は一体なにが違ふの?

交番と派出所は、同じです。H6年警察法改正前が派出所で改正後に交番になりました。交代で番をする24時間体制で警戒活動をおこなっています。また自治体によっては、移動交番(車)というものもあります。

駐在所は、1人または2人の警察官が居住しながら地域の安全を守る活動をしています。

平成28年熊本地震災害復興支援 特別委員会の最終報告

其28年6月16日の第1回特別委員会開催から、

昨年11月16日の特別委員会開催まで9回の委員会を開催すると共に現地視察・被災先進地の研修・

仮設住宅の各種との意見交換及び議員全員による委員会ごとの熊本地震の

振り返りを取りまとめ、行政と共有をはかり町の作成した菊陽町熊本地震復旧・復興計画にも反映することができた。

〔商工事業被害〕

①売上が落ち赤字の中での雇用調整の厳しい現状

②業界における若い担い手不足問題

③資材の高騰で工事価格より仕入れが高く工事が請けられない

④避難所に災害に備えた公共設備の廃棄及び避難所と福祉避難所の在り方について

⑤消防団、自主防災組織の

役割及び防災士の育成

②情報公開

〔被災先進地の研修〕

①地域コミュニティの活性化に運営する「市民センター」制度への移行

②自助、共助、公助の機能充実と住民、地域、行政の連携と共通認識と機能の実感

③復旧、復興に向けての議会の関わり



〔仮設団地での意見交換〕

①「みんなの家」ができてからのコミュニケーション

②家を立てたくても建てられない人がいるので町営住宅を開設してもらいたい

③家を建てるにしても、銀行から貸してもらえない場合、土地を抵当に町が貸してもらえないか

まとめ

まだ仮設住宅・みなし仮設住宅からの再建の道が立たない人もいます。また、2年間居住費用の補助が1年間延期になったが、一部では延期が認められないケースも県下では発生している。

仮設やみなし仮設以外で生活しているが家の補修や補修ができていない人もいます。

まだ見守るべきことはたくさんあると思うが、それは常任委員会に託することとして委員会の最終報告とする。

となりまちに学ぶ

大津町広報委員会での研修

今年1月30日、本町となりの大津町議会広報委員会に研修に行った。

大津町議会広報は毎回、町村議会広報コンクールにおいて優秀な成績である。近すぎるためではないが、研修先として選ぶことは、近年なかった。

広報クリニクを熊口NIEの講師から受けた際に相手方に打診をすることができ、実現に至った。研修の主な内容は、次のとおりである。

○表紙の題字、ロゴマークの選び方は、

大津町 デザインを募集する。

菊陽町 小中学生に毎回書いてもらう。

○もくじの表記は、

大津町 上なもので限定、菊陽町 できるだけページ内容を表記してきた。

○特集関係は、

大津町 尚綱大学学生に

よるレポートをシリーズとして特集をしている。

菊陽町 マイタウンコーナーでまちの話題、ありがとうございました。として平成28年熊本地震において活動した団体から話を聞いている。新コーナーとして若い力で菊陽町を支える若者たちから話を聞いて連載していく予定。

お互い、クイズや間違いさがし、クロスワード、川柳などは特集として扱ってはいない。

○多くの町民などに読んでもらうためには、

大津町 町PTAから意見を聞いて次号(5月1日)からリニューアルをおこなう。また、多くの意見を聞くためにはがきを議会だよりに添付している。

菊陽町 表紙の写真、まちの話題の写真、子どもの写真や読みやすい内容、

専門用語には、解説を付けるようにしている。

○議員の不祥事等の記事の扱いは、

大津町 辞職した場合は、理由を付けている。

菊陽町 辞職勧告、辞職の事実を掲載。議員の主観をいれない。

普段の研修とは違った、身近な存在の大津町広報委員会の議会だよりに対する考え方や取り組みを知ることができる、有意義な研修になった。



平成29年度菊陽町議会政務活動費実績一覧

(単位円)

議員氏名	交付額	支出額					返還額
		研修開催費	調査研究費	資料作成及び資料購入費	広聴費	合計	
大久保輝	240,000					0	240,000
阪本俊浩	240,000					0	240,000
西本友春	240,000					0	240,000
那須眞理子	240,000			41,424		41,424	198,576
佐々木理美子	240,000			5,400		5,400	234,600
中岡敏博	240,000					0	240,000
吉本孝寿	240,000		54,190			54,190	185,810
吉山哲也	240,000			19,440		19,440	220,560
北山正樹	申請なし					0	-
石原武義	240,000		141,800			141,800	98,200
岩下和高	240,000					0	240,000
大塚昇	240,000					0	240,000
川俣鐵也	240,000					0	240,000
上田茂政	申請なし					0	-
小林久美子	240,000		73,200			73,200	166,800
甲斐榮治	240,000		144,366			144,366	95,634
渡辺裕之	240,000		162,478	18,423		180,901	59,099
合計	3,600,000	0	576,034	84,687	0	660,721	2,939,279
構成比		0.0%	87.2%	12.8%	0.0%	100%	

議会モニターとの意見交換会

4月10日19時～20時30分

三里木町民センター2階
会議室にて

議会モニターと議員の意見
交換会が開催された。

はじめに各常任委員長
が3月定例会での委員会
運営、活動等について報
告があった。

委員会運営では、委員
長の議事進行や委員の質
疑応答をスムーズにおこ
なった。また、傍聴者に
おいては、各委員会とも
少ない状況であった。

また、委員会の審議内
容は、詳細な説明、おほ
まかな説明と違うところ
もあった。

議会運営委員会からは、
住民懇談会実施要項の説
明があった。

議会モニターの皆さんの
意見は次のとおり。

○モニターのありかたで
何をすればよいのか、わ

からない。

○議会を傍聴して感想や
意見を提出しているが、
どのように反映されてい
るか分からない。

○市民からみて議会とは
距離感がある。そのため
にもモニター制度や住民
懇談会は良いと思う。

○議員みんな同じ方向
を向いてほしい。

○町民から
直接行政に
は意見が言
いにくい。
ワンクツショ
ン置くとい
う意味でも
モニター制
度はよいと
思う。

議員からの
意見

○今の議会
には、立案
機能がない。

町民の意見を政策にして

いくシステムをつくる必
要がある。(渡辺裕之)

○モニター制度、区長会
との意見交換会、住民懇
談会(町民と議会の語る
会)は議会の成長である
が充実に向けて一層の努
力をしていく。
(甲斐榮治)



意見交換会の様子

ありがとうございました

災害時緊急対応をされた皆様 特集⑦

今回は菊陽町地域婦人会の皆さんに熊本地震時のお話を聞きました。

熊本地震後の婦人会の活動についてお聞かせ下さい。

4月17日に総務課からおにぎり作りを手伝ってほしいと電話がありました。

次の日から8～10人の婦人会員が集まって下さいました。皆さんの自宅も被害を受けていたのですが、誰かの力になりたいと集まってくださいました。

私自身も自宅が被災しましたが、皆さんの一生懸命な気持ちに癒されていたと思います。

嬉しかったこと、感じたことはありますか。

婦人会を卒業された方々も、今回の地震では、地域で皆さんのお世話をされたと聞いています。そのことから婦人会は地域のリーダーを育てるところだと実感しました。大変かもしれませんが、婦人会を続けていって欲しいと励ましの言葉をいただきました。その言葉に感謝しています。



これからの婦人会の活動について

婦人会の会員数が減ってきています。個人会員制を取り入れたり、なるべく負担を減らす努力はしているつもりです。婦人会は、成人女性ならどなたでも入会できます。皆さんも一歩踏み出して、私たちの仲間になってください。

6月議会の開会日は、6月6日(水)の予定です。

くわしい日程については、議会事務局 096-232-4919 にお問い合わせ下さい。

この誌面は再生紙を使っています。

発行責任者	議長	渡辺 裕之
編集者	副議長	中岡 敏博
委員	委員	甲斐 賢治
委員	委員	佐々木理美子
委員	委員	那須真理子
委員	委員	阪本 俊浩
委員	委員	大久保 輝

議会だより取材のため、撮影を滞用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますが、ご理解と協力をお願い致します。

みんなの議会 傍聴は、お気軽に
議会からお願い



傍聴者の声



議員の皆さんも分野があると思いますが、よく勉強されているなど感じたので、もっと議会傍聴に来るべきかなと思いました。これからも菊陽町、そして町民のために頑張ってください。



いつもは数人の傍聴者だが、今回は20人以上でした。質問に立った議員が「たくさん来られているので緊張する」と言われていました。もっと議会に興味と関心をもたれ傍聴者が増える工夫をしてほしいと思います。今回の一般質問は4人。他の議員さんは町政に満足されているのかなと思いました。



質疑も答弁も事前に決まっているように見え、あまり突っ込んだ議論もなく、傍聴者が納得できないままに先に進んでいった感じでした。もう少し切り込んでほしいのではないかと思います。



年に4回しかない一般質問は、議員として大事な仕事の一つであり真摯に取り組むべきことだと思います。議員は町民の代表であり質疑はより良い町づくりのために必要なものと考えます。執行部もまた、誠意をもって答弁すべきものです。両者ともこれからの町づくりのためにということをお忘れなでほしい。私たち町民も町政に関心をもち議会の傍聴等を通じて町づくりの方向性をしっかりと見つめることは大切だと思います。信頼される町・議会であってほしいと心から願います。



表紙の紹介

5月10日におこなわれた、光の森交番開所式にて演奏してくれた熊本県警察音楽隊の皆さん。

編集後記

大久保 輝

平成30年度の当初予算は過去最大規模の予算となり、議会でも決まりました。また、その他の議案も含めて各議員が真剣に議論をおこないました。

各議員で異なった意見が出ることは当然であり、多様な意見は是非々々で議論するべきだと感じて取り組んでいます。

しかし、議会だよりの編集にあたっては、各個人の意見・主張ではなく、中立的な文章となるように気をつけながら慎重に制作しています。

町民の皆さんに、議会へ関心を持っていただけるよう、わかりやすく視しみやすい紙面制作を心がけています。皆様のご意見などございましたら是非お寄せください。